

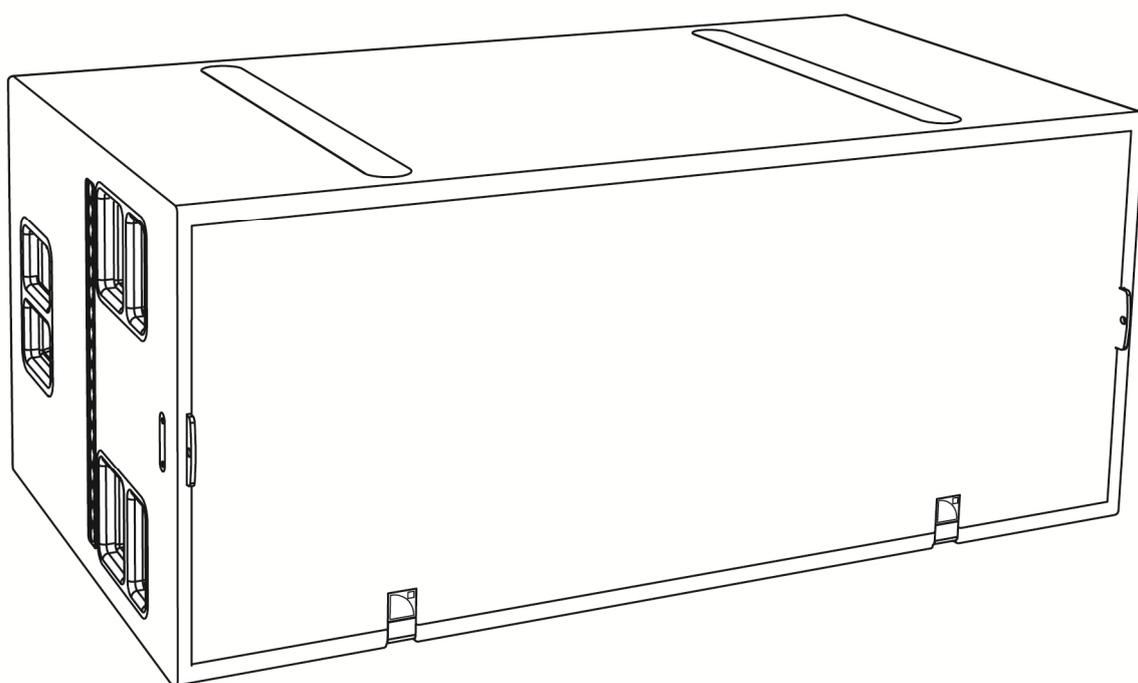
# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

VERSION 1.1



ユーザーマニュアル

ip





# 1 安全規則

ここからの情報はすべて L-ACOUSTICS® SB28 サブウーファーエンクロージャーに適用されることです。本章では“製品”と表します。

## 1.1 マークの説明

本マニュアルでは危険性がある事柄について、次のマークで表しています。



WARNING のマークは、製品の近くにいるユーザーやその他の人々へ身体的危害を与える恐れがあることを意味します。  
さらに、製品自体も損傷を受ける可能性があります。



CAUTION のマークは、製品に損傷を与えないようにするための注意点です。



IMPORTANT マークは、使用するにあたって推奨する重要な点を挙げています。

## 1.2 安全面の重要な注意事項

1. 本マニュアルを読むこと。
2. 安全に関する注意点すべてに留意すること。
3. すべての指示に従うこと。
4. L-ACOUSTICS が承認していない機材やアクセサリを、決してシステムに組み込まないこと。



### 5. サウンドレベル

このサウンドシステムは高い音圧レベルを生成するため、危険です。  
特に長時間に渡ってそのような環境にいると聴力が衰えることとなりますので、使用中はあまりラウドスピーカ一の近くに寄らないでください。



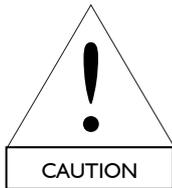
### 6. 環境

EN55103-2 基準に従って、E1、E2、E3、E4 の環境でのみ本製品を使用してください。

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1



### 7. 熱

熱を含むもの(ラジエーターやその他のデバイス)の近くで本製品を操作しないでください。



### 8. 水分と湿気

本製品は耐候性ではありますが、水分(雨、海水、水しぶき、霧)の多い場所で直接的に長時間さらすことはできません。また、水に直接触れさせたり浸したりしてもいけません。このようなことをすると、取り返しのつかないダメージを招くこととなります。



### 9. リギングシステムのパーツ

いかなる不具合も見つけ出すため、設置する前に全システムのエレメントを必ず点検してください。

点検するには本マニュアルの「手入れと保守管理」の項と、システムを構成するその他のマニュアルにある点検方法の詳細をご参照ください。

不具合が多少なりとも発見されたパーツは即座に除外し、有識者の検査を受けてください。



### 10. マウント時の注意点

本製品を不安定な場所(カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなど)に置かないでください。落下した場合に破壊、損傷を招きます。製品をマウントするときはメーカーの指示に従い、メーカーが推奨するマウント用アクセサリーを使用してください。



### 11. 緊急な修理を要する場合

次のようなダメージを負っているときには製品を修理に出してください。

- ・ 雨天や高湿度の環境に本製品をさらしてしまった。
- ・ 本製品を落下させた、あるいは筐体に損傷がある。
- ・ 正常な動作をしない。



### 12. マニュアル

製品が機能している間は、このマニュアルを大事に保管しておいてください。本マニュアルは製品の一部分です。マニュアルが無いと、本機を転売することはできません。製品に施したいかなる変更点も書類に記して、購入者へ手渡すようにしてください。

### 1.3 EC declaration of conformity

---

L-ACOUSTICS®

13 rue Levacher Cintrat  
Parc de la Fontaine de Jouvence  
91462 Marcoussis Cedex  
France

States that the following products:

Loudspeaker enclosure, SB28

Is in conformity with the provisions of:

Machinery Directive 98/37/EC  
Low Voltage Directive 73/23/EC

Applied rules and standards:

EN ISO 12100-1: 2004  
EN60065

Established at Marcoussis, France, the 02/25/2006

A handwritten signature in black ink, appearing to read "J. Spillmann".

Jacques Spillmann

JP

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

## 2 目次

<b>1</b>	<b>安全規則</b>	<b>1</b>
1.1	マークの説明	1
1.2	安全面の重要な注意事項	1
1.3	EC declaration of conformity	3
<b>2</b>	<b>目次</b>	<b>4</b>
<b>3</b>	<b>はじめに</b>	<b>5</b>
3.1	L-ACOUSTICS® へようこそ	5
3.2	箱を開ける	5
<b>4</b>	<b>SB28 システム</b>	<b>6</b>
<b>5</b>	<b>SB28 サブウーファーエンクロージャー</b>	<b>8</b>
<b>6</b>	<b>設置</b>	<b>9</b>
6.1	SB28 の搬送	9
6.2	SB28 のスタッキングとフライング	9
6.3	スピーカーの接続	9
<b>7</b>	<b>オペレーション</b>	<b>11</b>
7.1	SB28 システムの構成	11
7.2	“スタンダード”モード	11
7.2.1	LA8 との接続	11
7.2.2	[SB28_60]と[SB28_100]プリセット	12
7.3	“カーディオイド”モード	12
7.3.1	LA8 に接続する	12
7.3.2	[SB28_60_C]と[SB28_100_C]プリセット	13
<b>8</b>	<b>手入れと保守管理</b>	<b>14</b>
8.1	メンテナンスについて	14
8.2	テストの方法	14
8.2.1	トランスデューサーとエンクロージャーの音響性能を確認する	14
8.2.2	機械的アッセンブリーとリギングパーツを確認する	14
8.2.3	外観を確認する	14
8.3	ラウドスピーカーの修理	15
8.4	スペアパーツと推奨する道具	15
<b>9</b>	<b>仕様</b>	<b>16</b>

## 3 はじめに

### 3.1 L-ACOUSTICS®へようこそ

---

L-ACOUSTICS® SB28 サブウーファーエンクロージャーをお買い上げいただきまして、有難うございます。

本マニュアルには、製品を正しくかつ安全に設置し、操作していただくための重要な情報が含まれています。その手順に慣れていただくためにも、本マニュアルをよくお読みください。

技術と規格は常に進展していくため、L-ACOUSTICS®は事前に通告することなく製品の仕様や本マニュアルの内容を変更する権利を保持します。最新のアップデートは L-ACOUSTICS®社のウェブサイト([www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com))を定期的にご覧になり、ご確認ください。

製品に修理が必要な場合や保証に関してお知りになりたい場合には、L-ACOUSTICS®の代理店までご連絡ください。連絡先は巻末にあります。

### 3.2 箱を開ける

---

ダンボールを注意して開け、製品に損傷がないかどうかをお確かめください。L-ACOUSTICS®では出荷する前に全製品をテスト、検査しているため、製品は完全な状態でお届けされるはずですが。

ダメージが見つかった場合には代理店へ即座にご連絡ください。輸送中に生じた損傷を輸送業者に対して申し立てできるのは荷受人のみであることがあります。輸送業者が行う検査のためにも、ダンボールやパッキング素材は保管しておいてください。

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

### 4 SB28 システム

L-ACOUSTICS® SB28 サブウーファーエンクロージャーは、V-DOSC®、dV-DOSC、KUDO®、そして ARCS®システム用サブウーファーで、組み合わせたシステムの周波数帯を 25Hz まで下げることができます。

L-ACOUSTICS®が SB28 用に開発したシステムソリューションは、可能な構成の利点を最大限に利用し、システムを最適化するために必要なエレメントから成り立ちます。システムを構成する主な要素は次のとおりです。:

SB28

SB28PLA, SB28COV

ARCS®, dV-DOSC, V-DOSC®, KUDO®

dV-SUB

LA4, LA8

LA NETWORK MANAGER

SOUNDVISION

- サブウーファー
- 着脱式フロントドリーと、運搬時用の保護カバー
- WST® システム
- dV-DOSCシステム用のサブウーファー
- 専用のアンプリファイド・コントローラー
- リモートコントローラーソフトウェア
- 音響モデリングソフトウェア

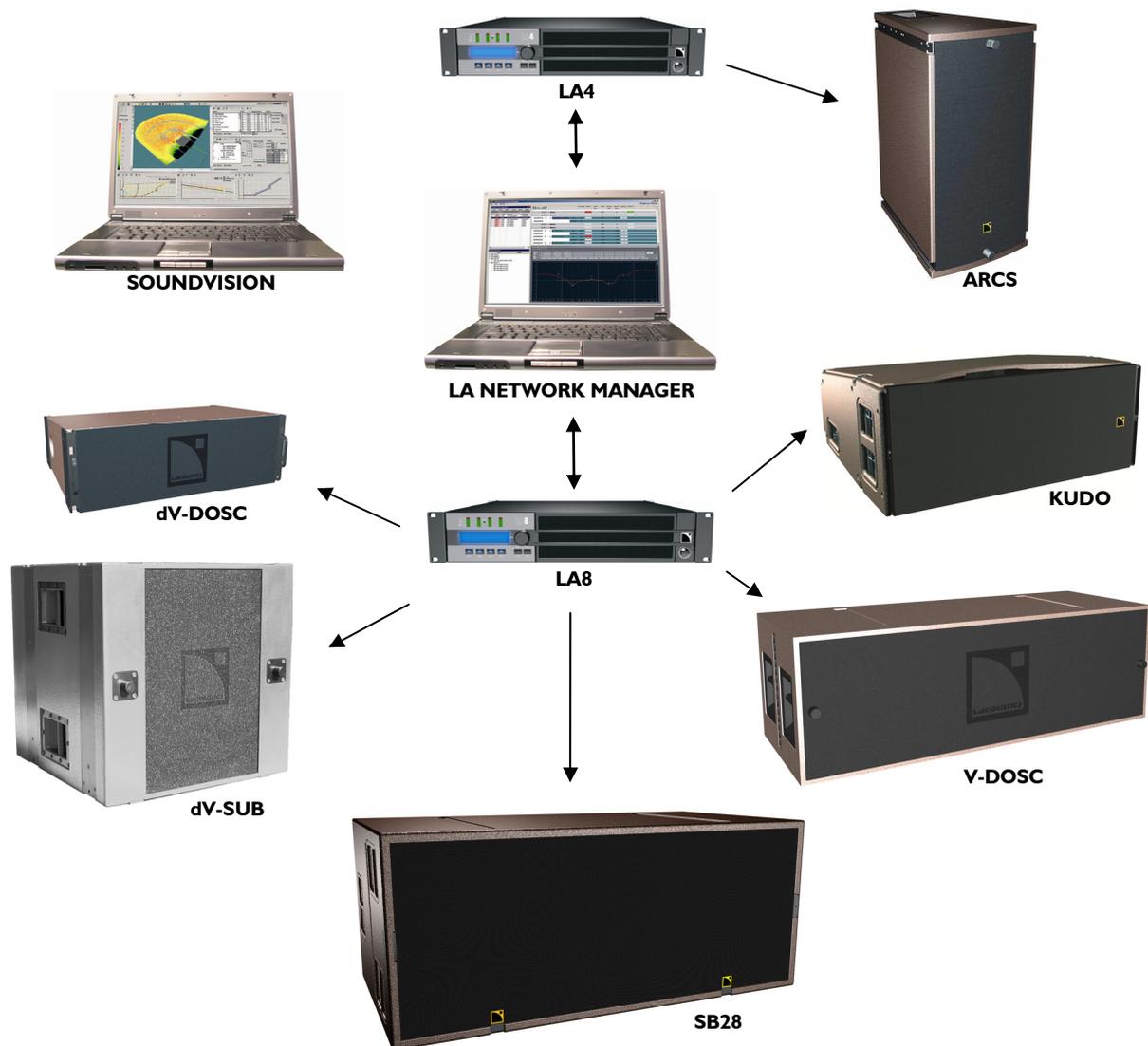
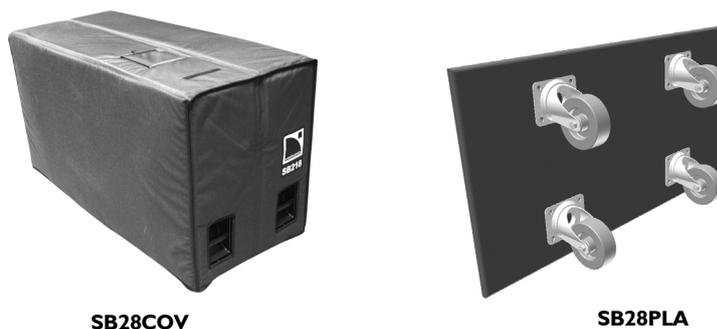


図 1: SB28 システムの構成要素 (part 1)



SB28COV

SB28PLA

図 2: SB28 システムの構成要素 (part 2)

その他、既存のアクセサリを用いて、標準の SB28 サブウーファーを補足することができます。このアクセサリにはラウドスピーカーケーブルの DO.7(0.7m)、DO10(10m)、そして、DO25(25m)が含まれます。各ケーブルとも断面積が  $4\text{mm}^2$ (13 SWG, 11 AWG)の 8 芯で、PA-COM®8PIN コネクターが付いています。

SB28 エンクロージャーへの接続には、L-ACOUSTICS® DOSUB-LA8 ケーブルアダプターが必要となります。L-ACOUSTICS® DOSUB-LA8 ケーブルアダプターには PA-COM®8 ピンコネクターとスピコン®4 ピンコネクターが備わっています。

SB28 のコントロールは、L-ACOUSTICS® LA8 アンプリファイド・コントローラーから行います。優れた保護機能、フィルタリング、EQ という特徴を持つ LA8 は、4 チャンネルのアンプセクションと OEM ファクトリープリセットライブラリーを備えており、推奨する構成の範囲内でシステムの性能が最適になるよう機能します。

各システムのデザイン・コンフィギュレーションとも、最初に、L-ACOUSTICS® SOUNDVISION の使用に基づいた上で、形付けられなければなりません。ソフトウェアのプレディクションは、アンプリファイド・コントローラーに内蔵されるプリセット・パラメーターに基づいています。

いくつかのアンプリファイド・コントローラーは、L-ACOUSTICS® LA NETWORK MANAGER ソフトウェアを使用した、L-ACOUSTICS® L-NET ネットワークを通じ、相互接続され、モニターされます。

LA8 アンプリファイド・コントローラー、SOUNDVISION、LA NETWORK MANAGER ソフトウェアの詳しい使用法をここでご説明すると長くなりますので、それぞれのマニュアルをご参照ください。マニュアルは [www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com)(英語)、もしくはベストエックオーディオ社のウェブサイトから [www.bestecaudio.com](http://www.bestecaudio.com) から入手可能です。

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

### 5 SB28 サブウーファーエンクロージャー

L-ACOUSTICS® SB28サブウーファーエンクロージャーは、ベンテッド・バンドパス・コンフィギュレーションにロードされた直接放射LFTランスデューサーが2つ搭載されています。バスレフダクトは空気の流れが層流を生成するという進歩的な特徴を持っています。これにより、SPLの出力が増し、不要なノイズを最小限にすることができます。

SB28に使用されている18" LFTランスデューサーは、ハイパワーハンドリングのキャパシティを備え、放熱効率の高いパワーコンプレッションを実現し、歪みも軽減します。SB28エンクロージャーの公称インピーダンスは4Ωとなります。

スタンダード・コンフィギュレーションで、SB28エンクロージャーは、ほとんど全指向性のカバーパターンを生み出します。

SB28のキャビネットは、高品質のバルト地方原産の樺の合板できており、卓越した機械性と音響特性、そして優れた耐久性を持ち合わせています。

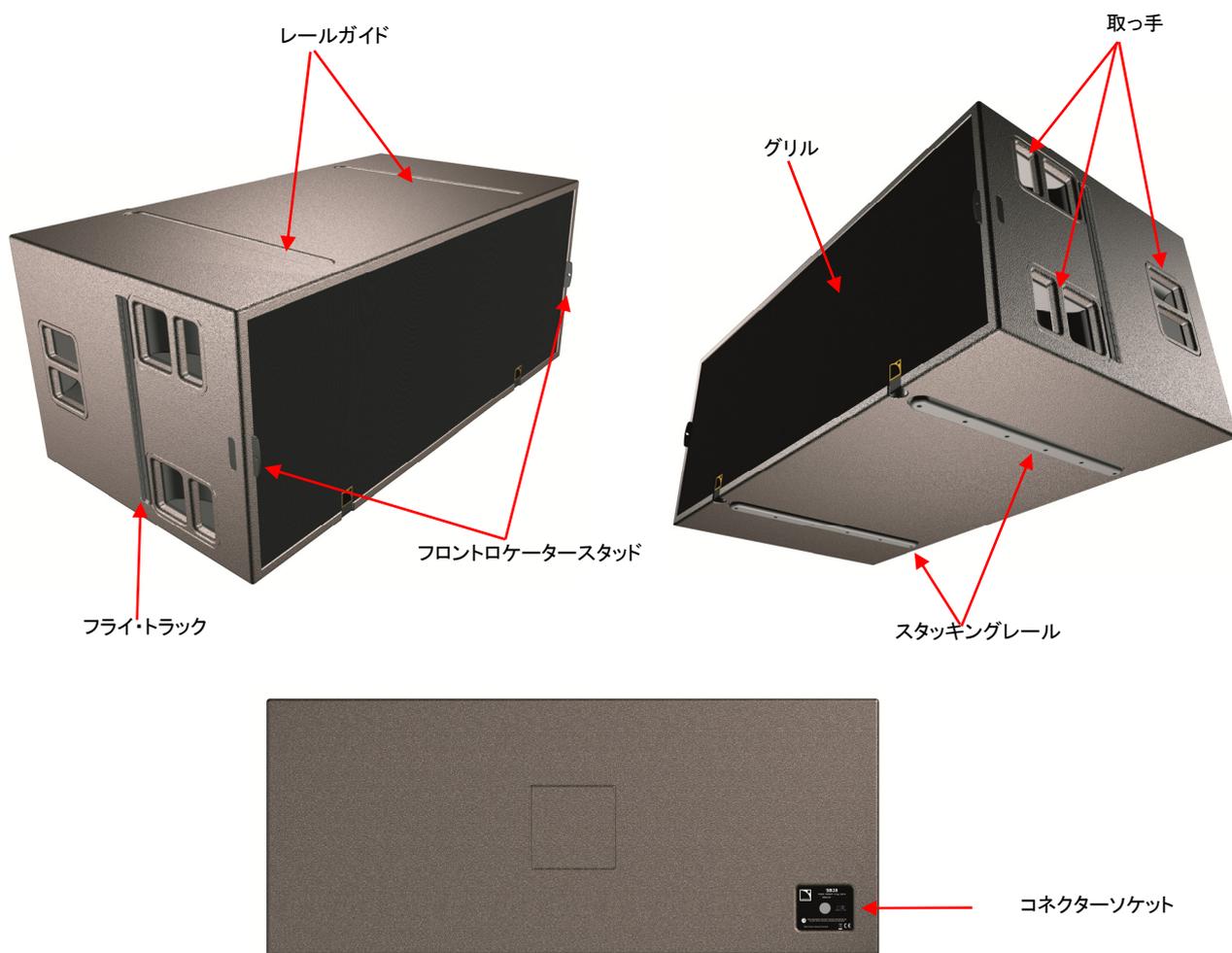


図 3: SB28 サブウーファーエンクロージャー

## 6 設置

### 6.1 SB28 の搬送

オプションでL-ACOUSTICS® SB28PLAドリー(図2)があります。SB28 エンクロージャーのフロントにあるスタッド(図3)に、ドリーの2つのピンを挿しこんでください。これにより、エンクロージャーの簡単な搬送と保護が可能となります。



L-ACOUSTICS®は、SB28 エンクロージャーの搬送に関し、L-ACOUSTICS® SB28PLA着脱式フロントドリーボードとL-ACOUSTICS® SB28COV保護カバー(図2)の使用をお勧めします。

### 6.2 SB28 のスタッキングとフライング

SB28のリギングシステムは、次の様な構成でシステムをフライング・スタッキングすることが可能です。:

- フライングでの垂直アレー(開発予定)
- スタッキングでの垂直アレー:スタッキング用に組み込まれたレールとレールガイドを使用し、SB28エンクロージャーを6台までスタッキング可能(図3)



垂直アレーでは、一台ずつスタッキングし、最高6台までのスタッキングが可能となります。ラチェットストラップや、適した道具を使い安全に固定してください。

### 6.3 スピーカーの接続

SB28エンクロージャーは専用のアンプリファイド・コントローラー、L-ACOUSTICS® LA8を用いてドライブし、パワリングします。LA8の1チャンネルで、SB28エンクロージャー1台をドライブ可能です。アプリケーションによってプリセットを選び、またそれによってチャンネルのアサインメントが変わります。詳細は“LA8 ユーザーマニュアル”をご覧ください。お持ちでない場合は、[www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com) (英語)、あるいはベストエックオーディオ(株)のウェブサイト [www.bestecaudio.com](http://www.bestecaudio.com) でご覧いただけます。

SB28エンクロージャーは、4-pointのスピコンコネクターが1つ付属します。SB28エンクロージャーをLA8アンプリファイド・コントローラー(図4)に接続する際はL-ACOUSTICS®のケーブル、DOSUB-LA8とDO.7,DO10,DO25ケーブルを接続して使用します。



LA8 の出力チャンネル1つにつき、最高1台までの SB28 エンクロージャーを接続できます。

L-ACOUSTICS®製品の結線は、次のようになっています。:

Speakon® コネクター表示	トランスデューサーへの接続
1+	IN +
1-	IN -
2+	接続なし
2-	接続なし

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

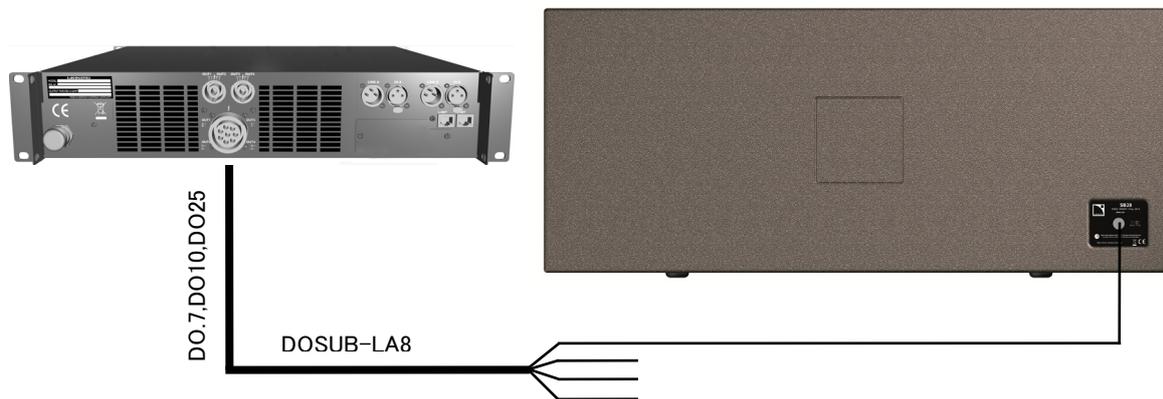


図 4: SB28 を LA8 アンプリファイド・コントローラーに接続する



高い性能と安全性の両方を確実にするために、L-ACOUSTICS®は、よった銅線を使用した高品質な絶縁ケーブルのみを使用することを推奨します。また、優れたダンピングファクターを維持するための一般的なガイドラインとして、低抵抗のゲージのを選び、できるだけケーブルは短くするようにしてください。.

次の表は、推奨するケーブルの断面積と長さの関係を表しています。:

表 1: 最小のケーブル断面積と長さの関係(ダンピングファクター>20)

断面積			SB28 1台/ 4 Ω	
mm <sup>2</sup>	SWG	AWG	m	ft
2.5	15	13	15	50
<b>4</b>	<b>13</b>	<b>11</b>	<b>25</b>	<b>80</b>
6	11	9	37	120
10	9	7	60	195

表1の計算では、DO25ケーブルとDOSUB-LA8ケーブルとの組み合わせで、ダンピングファクターが20以上を保ったまま、4Ωの負荷で、SB28をパワリングすることができます。

## 7 オペレーション

### 7.1 SB28 システムの構成

システムの構成の種類は、システムエンジニアやオーディオコンサルタントなどのエキスパートによる電気音響研究の結果から導き出されました。しかしながら、サウンドデザインの点に関しては、このマニュアルではご説明致しません。特定のシチュエーションごとの用法、および音が放射される環境をふまえて電気音響の予測値を出す SOUNDVISION は、この予測を基にモデリング、シミュレーションします。

いくつかのオペレーションモードでは、一般的な全ての構成(L/R 構成、L/C/R 構成、分配型構成)を組むことが可能です。そして、各オペレーションモードとも、ファクトリープリセットに対応しています。その他の、非対応の構成は、いかなるプリセットにも対応していません。

L-ACOUSTICS® SB28 サブウーファーエンクロージャーは、“スタンダードモード”と“カーディオイド”で、メインシステムの低周波数特性の増幅を目的としています。



LA8の出力チャンネルのアサインメントは、ユーザーにより選択されたプリセットにより変わります。オペレートの前には、必ず、SB28 エンクロージャーが正しい出力チャンネルに接続されていることを確認してください。

注:プリセットライブラリーの最新バージョンは、L-ACOUSTICS®が承認した代理店から入手するか、[www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com)からダウンロードしてください。

### 7.2 “スタンダード” モード

“スタンダード”モードでは、SB28エンクロージャーは、使用システムの低周波数特性を25Hzまで下げることができます。各エンクロージャーとも、全指向性のカバーパターンを生み出します。

#### 7.2.1 LA8 との接続

各SB28エンクロージャーを、LA8の出力チャンネル1から4に接続します。よって、1台のLA8で、最高でSB28エンクロージャーを4台ドライブできます(図5を参照)。

4台以上のB28エンクロージャーを使用する場合は、もう1台LA8を加えて同じ接続手順でつなぎます。

注:システムリソースは、SB28の4台の時に最適化されます。

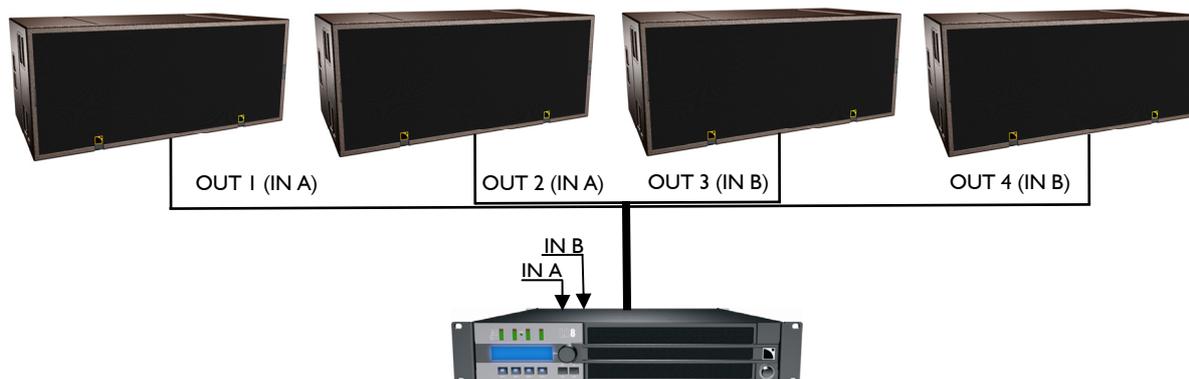


図 5: LA8 アンプリファイドコントローラーと接続した SB28 サブウーファー 4 台

# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

### 7.2.2 [SB28\_60]と[SB28\_100]プリセット

[SB28\_60]プリセットは、60Hz のローパスフィルターを備えており、SB28 サブウーファーを、V-DOSC<sup>®</sup>、dV-DOSC/dV-SUB、KUDO<sup>®</sup>と ARCS<sup>®</sup>システム用の付随するサブウーファーとして使用することが可能となります。

[SB28\_100]プリセットは、100Hz のローパスフィルターを備えており、SB28 サブウーファーを、dV-DOSC と ARCS<sup>®</sup>システム用の付随することが可能となります。

推奨する割合は、SB28x 2台につき、以下の通りとなります：KUDO<sup>®</sup>x 6台、V-DOSC<sup>®</sup>x 3台、dV-DOSCx 6台、dV-DOSCx 6台 /dV-SUBx 2台、ARCS<sup>®</sup>x 4台

より高いSUBレベルを必要とするアプリケーションでKUDO<sup>®</sup>システムを使用するとき、その割合はSB28x 2台につき、KUDO<sup>®</sup>x 4台となります。

LA8アンプリファイド・コントローラーのフロントパネルから、LOAD PRESETを起動し、任意のプリセットを選択してください。更なるインストラクションに関しましては、“LA8”のユーザーマニュアルをご参照ください。これらのプリセットは、LA NETWORK MANAGERソフトウェアを使用してもアクセス可能となります（“LA NETWORK MANAGER”ユーザーマニュアルをご参照ください）。“スタンダード”モードで、アクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 2: “スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 インプット / アウトプット	エレメントへの接続	プリセット アサイン*	変更可能 : (O) 変更不可能 : (X)			
			ミュート	ゲイン	ディレイ	位相
IN A	入力信号 A	IN_A	X	O	O	O
IN B	入力信号 B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB28 エンクロージャー	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	SB28 エンクロージャー	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	SB28 エンクロージャー	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	SB28 エンクロージャー	SB_B	O	O	O	O

\* IN: 入力信号、A: チャンネル A、B: チャンネル B、SB: サブウーファーエンクロージャー

注: メインシステムは、別のアンプリファイド・コントローラーが必要です。該当するユーザーマニュアルをご参照ください。

### 7.3 “カーディオイド”モード

“カーディオイド”モードでは、SB28 エンクロージャーは、使用システムの低周波数特性を25Hz まで下げることができます。各SBカーディオイド・パターンD・パターンのカバレッジを生み出し、リア側に最大の減衰をもたらします。



SB28 カーディオイドアレーは、最下の SB28 をフロントからリアへ反対にし、4 台を垂直アレーにすることにより得られます。もし、複数のアレーを使用する場合、それぞれの間隔は 0.6m/2ft. にする必要があります。(図 6)

#### 7.3.1 LA8 に接続する

各SB28エンクロージャーを、LA8の出力チャンネル1から4に接続します。最下部の反転させたエンクロージャーには、チャンネル1を接続します(図6)。



分散型カーディオイド・パターンを得るためには、最下部の反転させた SB28 が出力チャンネル1に接続されていることを常に確認してください。

SB28x 4台のアレーを、さらに追加する場合は、LA8アンプリファイド・コントローラーを1台追加し、接続する必要があります。

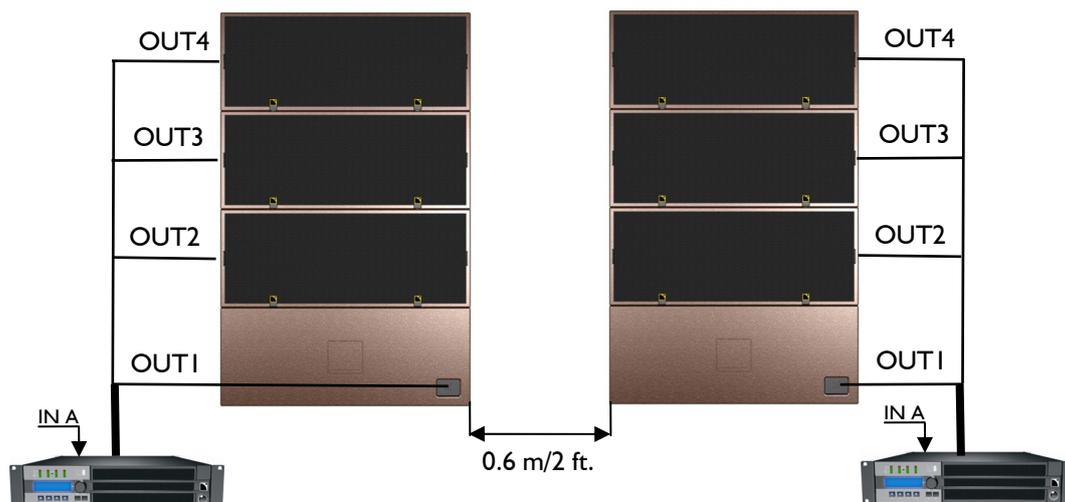


図 6: LA8 アンプリファイド・コントローラー1 台に接続した SB28 カーディオイドアレー2つ (前面)

### 7.3.2 [SB28\_60\_C]と[SB28\_100\_C]プリセット

[SB28\_60\_C]プリセットは、60Hz のローパスフィルターを備えており、SB28 を、V-DOSC<sup>®</sup>、dV-DOSC/dV-SUB、KUDO<sup>®</sup>と ARCS<sup>®</sup>システム用の、カーディオイド・パターンでのサブウーファーとして使用することが可能となります。

[SB28\_100\_C]プリセットは、100Hz のローパスフィルターを備えており、SB28 を、V-DOSC<sup>®</sup>、dV-DOSC/dV-SUB、KUDO<sup>®</sup>と ARCS<sup>®</sup>システム用の、カーディオイド・パターンでのサブウーファーとして使用することが可能となります。

推奨する割合は、SB28x 4台につき、以下の通りとなります；

KUDO<sup>®</sup>x 12台、V-DOSC<sup>®</sup>x 6台、dV-DOSC<sup>®</sup>x 12台、dV-DOSCx 12台/dV-SUBx 4台、ARCS<sup>®</sup>x 8台

より高いSUBレベルを必要とするアプリケーションでKUDO<sup>®</sup>システムを使用するとき、その割合はSB28x 4台につき、KUDO<sup>®</sup>x 8台となります。

LA8アンプリファイド・コントローラーのフロントパネルから、LOAD PRESETを起動し、任意のプリセットを選択してください。更なるインストラクションに関しましては、“LA8”のユーザーマニュアルをご参照ください。これらのプリセットは、LA NETWORK MANAGERソフトウェアを使用してもアクセス可能となります (“LA NETWORK MANAGER”ユーザーマニュアルをご参照ください)。“カーディオイド”モードで、アクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。:

表 3: “カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 インput / アウトput	エレメントへの接続	プリセット アサイン*	変更可能 : (O) 変更不可能 : (X)			
			ミュート	ゲイン	ディレイ	位相
IN A	入力信号 A	IN_A	X	O	O	O
IN B	無	不使用	X	X	X	X
OUT 1	リバース SB28 エンクロージャー	SR_A	O	X	X	X
OUT 2	SB28 エンクロージャー	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	SB28 エンクロージャー	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	SB28 エンクロージャー	SB_A	O	X	X	X

\* IN: 入力信号、A: チャンネル A、SB: サブウーファーエンクロージャー、SR: リバースサブウーファーエンクロージャー

注: メインシステムは、別のアンプリファイド・コントローラーが必要です。該当するユーザーマニュアルをご参照ください。

## 8 手入れと保守管理

### 8.1 メンテナンスについて

L-ACOUSTICS® SB28エンクロージャーは屋内や屋外でのさまざまな、そして過酷なSRアプリケーションを想定して設計されています。要求の多い条件にも応えるために、L-ACOUSTICS®はSB28エンクロージャーをハイグレードで信頼できるコンポーネントに仕上げました。

- サビに強い素材を使用した耐候性のトランスデューサー
- バルト地区原産の樺の合板を使用したキャビネット
- 高抵抗、非生物分解性の Airnet フロントグリル繊維
- メッキコーティングしたスチールグリル
- 耐サビ対策を施したネジとリギングポイント

しかし、製品の性能と安全性を確保するためには、SB28エンクロージャーのキャビネットとその内部コンポーネントを頻繁に点検することが不可欠です。これらの点検は使用システムのコンディションに応じ、定期的に行うことが必要となります。点検の方法は、第8.2章で解説されているように、3ステップに分かれます。もし、スピーカーの取替えが必要な場合、第8.3章の手順に従ってください。

### 8.2 テストの方法

#### 8.2.1 トランスデューサーとエンクロージャーの音響性能を確認する

LA8アンプリファイド・コントローラーのアクティブインプットにスイープ周波数ジェネレーターを接続し、0.5ボルトの**最大電圧**(-4dBu、-6dBV)を流します。そして25Hz~100Hzのスイープをかけてください。このとき、サウンドはピュアで不要なノイズが一切ない状態であるはずですが、もしノイズなどが聞こえたときは、アッセンブリをチェックし、必要であれば代理店へ損傷部品の修理を依頼してください(第8.3章参照)。



0.5Vが最大値です。特定の周波数帯で非常に高いサウンドレベルを生成します。操作時は耳を保護してください。

18インチラウドスピーカーを取り替えるときは、極性チェック機器で配線の極性が正しいことをご確認ください。もし、トランスデューサーに位相の不一致がある場合、トランスデューサーのソケットに接続されているケーブルを反転させてください。ケーブリングの手順に関しては、第8.3章で解説されています。

#### 8.2.2 機械的アッセンブリとリギングパーツを確認する

アッセンブリの見た目をまずチェックし、次に(リギングの部品、ラウドスピーカー、そしてグリルの)ネジがすべてしっかりと締まっていることと、スピコンソケットの接触とロック動作の状態を確認します。そして可動パーツ(リリースピン、オートロックの動き具合)と、リギング部品(変形、へこみ、サビがないか)も確認します。必要であれば代理店へ修理の依頼をしてください。

#### 8.2.3 外観を確認する

フロントフォームの埃を掃除機で吸い取ってください。必要であれば、キャビネットを塗り直してください。



ペイントを塗る場合は、機械部とフロントグリルを避けて塗ってください。グリルに塗料がついてしまうと穴が塞がり、音の透過性に影響します。

### 8.3 ラウドスピーカーの修理

破損した場合は、下記の説明に従い、18”のラウドスピーカーを取り外し、交換してください。その後、L-ACOUSTICSか代理店が修理を行います。

#### 18インチラウドスピーカーの取り外し手順

1. グリルを上に向け、水平の取れる場所でSB28エンクロージャーを設置します。
2. ロゴの後部にある六角ネジ2つを取り外し、グリルを取り外します。
3. 六角ネジ8つとワッシャーを取り外します。
4. ラウドスピーカーを持ち上げ、赤と黒の両方のケーブルをラウドスピーカーのソケットから外します:スプリング付きの端子を押し、ケーブルを取り外し、端子を戻します。

#### 18インチラウドスピーカーの取付け手順

1. 新しいラウドスピーカーのソケット上で、赤いケーブルを赤いマークの付いた端子に接続し、黒いケーブルをマークの付いていない端子に接続します:スプリング付きの端子を押し、穴にケーブルを挿しこみ、端子を戻します。
2. ラウドスピーカーを取り付け、六角ネジ8つとワッシャーを締めます。
3. グリルを取り付け、六角ネジ2つを締めます。

### 8.4 スペアパーツと推奨する道具

表 4: 入手可能なスペアパーツ

HP BM181	18” スピーカー - 8 Ω
HS BM181	18” リコーンキット
HR BM181	18” リコーン済みキット
SE GRSB28	フロントパネル・コンプリート・キット

表 5: 修理に推奨する道具

5mm の六角レンチ
------------

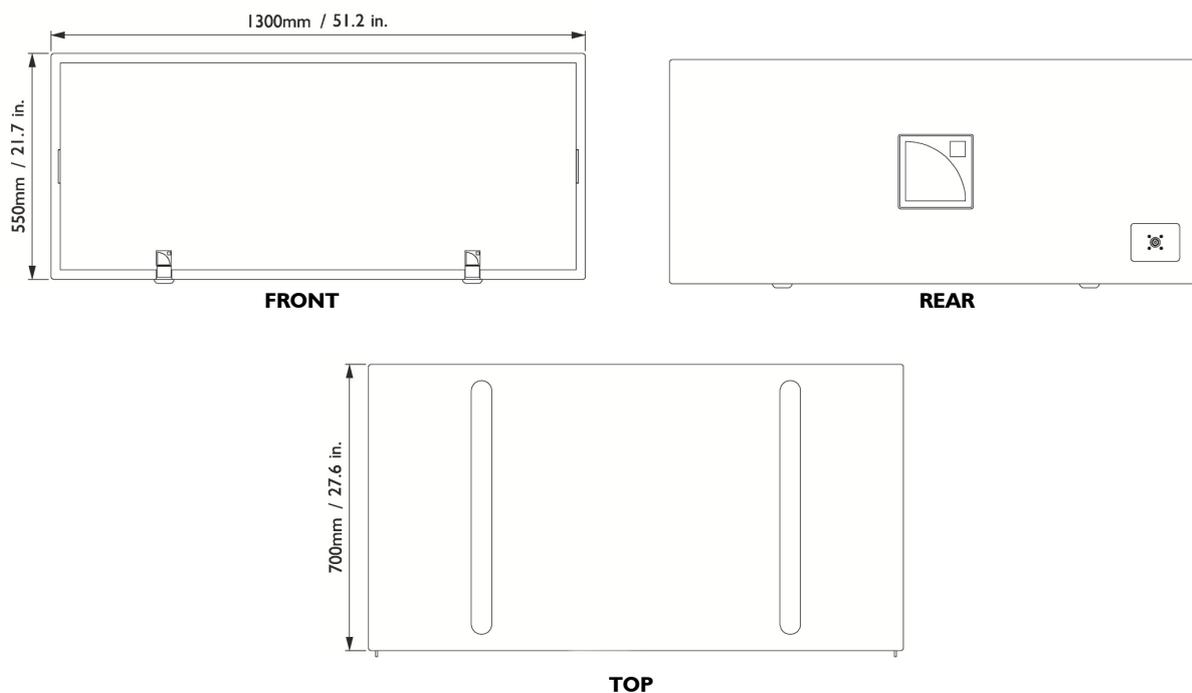
# SB28 SUBWOOFER ENCLOSURE

## USER MANUAL

VERSION 1.1

### 9 仕様

品名	SB28	
周波数特性		
有効周波数(-10dB)	25 Hz	([SB28_100]プリセット)
最大SPL レベル <sup>1</sup>	140 dB	([SB28_100]プリセット)
公称の指向性		
1台のとき	全指向性	
カーディオイドアレー時	リアに最大の減衰: 12 dB	
トランスデューサー	ベンテッド・バンドパス・エンクロージャーに12インチ耐候性を2個マウント	
公称インピーダンス	4 Ω	
コネクタ	1 x 4ピン スピコンコネクタ	
寸法 (W x H x D)	1300 x 550 x 700 mm ⇔ 51.2 x 21.7 x 27.6 in.	



重量	93kg
搬送	⇒ L-ACOUSTICS® SB28PLA フロントドリー (オプションとして入手可能) ⇒ L-ACOUSTICS® SB28COV 保護カバー (オプションとして入手可能)
垂直フライングアレー	⇒ 開発中
垂直スタッキングアレー	⇒ スタッキング用に組み込まれたレールとレールガイドを使用し、SB28エンクロージャー6台までのスタッキングを保証 (アレーの安全性を確実にしてください)
外装	
素材	18 mm, 24 mm バルト地方原産、樺の合板.
塗装	茶 RAL 8017®
フロント	メッキコーティングされたスチールグリル、音響に影響のない ‘Airnet’ クロス
ハンドル	キャビネットに統合
リギングパーツ	エポキシ樹脂でコーティングしたハイグレードスチール

<sup>1</sup> プリセットと適切なEQセッティングで、10dBのクレストファクターを持つピンクノイズを用いて計測した、ハーフスペース上1mでの最大音圧



お問い合わせ先

 **ベストエックオーディオ株式会社**

本社: 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-25-12 ☎ 03-6661-3825 FAX: 03-6661-3826  
大阪(営): 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14-602 ☎ 06-6359-7163 FAX: 06-6359-7164

[www.bestecaudio.com](http://www.bestecaudio.com) info@bestecaudio.com

**Document Reference: SB28\_UM\_ML\_1.1**

---

© Copyright 2008 by L-ACOUSTICS®  
Parc de la Fontaine de Jouvence, 91462 Marcoussis cedex, France

---

**Distribution date: December 16<sup>th</sup>, 2008**